

連携の在り方討論

岡山でNGO相談員会議

NPO、自治体関係者参加

AMD A社会開発機構（岡山市）など、NGO（非政府組織）支援を担う全国16のNGO相談員が集まる連絡会議が28日、2日間の日程で岡山市で始まり、初日は県内のNPO、自治体関係者らと連携の在り方について討論した。

相談員は、実績があるNGOが外務省から委嘱され、組織の設立



連携の在り方について意見交換するNGO、NPO関係者ら

・運営手法や国際協力活動などの相談に応じる。この日はNGOの担当者ら約20人をはじめ、岡山NPOセンターや県、岡山市などの計35人が参加した。

行政、教育機関、国内NPOとの連携をテーマに、出席者は3班に分かれて意見交換。組織の枠組みを超えて課題解決を図る同センターのワークショップ

ップなど県内の実践事例を参考にしながら「情報共有にはメーリングリストが有効」「連携窓口の明確化が必須」などと活発に議論した。

2日目はNGOの安全対策などがテーマ。会議は相談員の支援機能強化などを狙いに全国9ブロックの持ち回りで毎年開かれている。（大橋洋平）